




6. 基本的な補修方法

1 下地処理

表面の清掃	
	<p>*コンクリート下地の場合 凹凸面への施工は、本材の塗布量増加に繋がる為、エポキシ系パテまたは、樹脂モルタルを使用し、なるべく平滑な面に仕上げてください。特にAS150の場合は、凹部分での硬化遅延が予測されるため、注意が必要となります。 下地表面に浸透性補強材等が処理されているか、または、鏡面に仕上げている場合は、電動工具による目荒し処理にプライマー処理を併用してください。また、事前に試験施工を実施し、接着性について御確認ください。 プライマーは、耐久性を要求される場合に使用されることを推奨いたします。※プライマー：ECプライマー ※新設、既設などコンクリートの状態によって必要な下地処理が異なります。詳しくは施工仕様書をご確認ください。</p>
	<p>*金属下地の場合 劣化した旧塗膜や浮き錆などは除去します。除去方法は、プラスト処理または、ワイヤーブラシ等で行います。除去後、有機溶剤等で表面を清掃します。 オイル、グリス、泥、ワックス等は有機溶剤及び油除去剤等を使用して除去します。※有機溶剤をご使用の場合は、100%揮発するものを使用して下さい。施工下地に溶剤が残ると下地と樹脂との密着性を阻害する可能性があります。金属表面が腐食等により孔蝕している場合は、「金属補修用パテ デブコンA」により断面修復し、平滑にしてください。</p>
<p>施工下地は、余分な油、水分、埃等が無く、旧塗膜、レイタンス層等のない堅牢な下地としてください。清掃が終了したら、周囲をマスクングします。</p>	

混合	塗布
 <p>硬化剤(小さい缶)の中身を全て主剤(大きい缶)に流し込み、電動タイプのミキサーを使用して約3～5分間、均一な色になるまでしっかりと混合します。</p>	 <p>たまり、ムラの無いように均一に塗布します。</p>

※詳細な施工要領書がご入用の際は、別途お取り寄せ下さい。

7. 塗布後の仕上がりについて

安全地帯は、使用する工具の種類によって、仕上がりの状態を自由に変えることができます。

商品番号	商品(工具)名	サイズ	荷姿	仕上がり
A90051	紙管ローラー	10cm長	3ヶ/袋	荒目凹凸仕上げ
A90052		22cm長	2ヶ/袋	
A90031	縮毛ローラー	10cm長	3ヶ/袋	中目凹凸仕上げ。
A90032		22cm長	2ヶ/袋	
—	金ゴテ*	—	—	細め凹凸仕上げ。

*金ゴテの販売は行っておりませんので、市販品をご使用下さい。

8. 使用上の注意

- 火気厳禁を励行して下さい。
- 皮膚には付けないように、保護手袋、前掛け等を着用する。また、作業着、手袋等に付着したまま着用しないで下さい。
- 蒸気の吸入は避け、取扱う作業場所には局所排気装置を設けて下さい。
- 夏場、汗をかくような時は、皮膚から吸収しやすいので、特に十分に換気し、顔等露出部分に保護クリームを塗ったり、長袖を着用し、蒸気に直接触れないようにして下さい。
- 一度に多量の材料を混合した場合、急激な発熱を生じる場合がありますので、注意して下さい。
- 可使時間、硬化時間は使用環境温度及び塗布厚みに影響を受けますので注意して下さい。
- 食品等に直接触れる場合は、硬化後、接触面に温水及びアルコールによる洗浄を実施して下さい。
- 使用時以外はキャップをしっかりと閉め、子供の手の届かない、直射日光の当たらない涼しい場所に保管して下さい。
- 廃棄の際は全て硬化させ、廃棄物業者に正規の方法で委託して処分して下さい。
- その他注意事項についてはSDSを参照し、順守して下さい。

製造・販売元

株式会社 ITW パフォーマンスポリマーズ&フルイズ ジャパン

● 本社

〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-1 TEL:06-6330-7118(代) FAX:06-6330-7083

□ 技術サービスフリーダイヤル

0120-03-4880